

平成31年度シラバス

視能訓練士科

神戸総合医療専門学校

科目名		授業形態	担当教員名	
視能検査学総論		講義・演習	渡部 暁子・中谷 勝己	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（2 単位）		15 回	1 年次	前期
授業の目的・概要				
この授業では、検査機器の基本的知識や検査に対する責任をもつことを目的とします。また、患者の安全、気持ちや身体の状態に配慮できるようになることも目的です。授業前半には、機器全般の総合的知識や心得についての講義を行います。授業後半には、スキアスコップ、オートレフラクトメーターという検査機器を用いて、患者への説明や操作の仕方について、講義・実習を行います。				
授業の到達目標				
以下のことを到達目標とする。 ①検査機器の基本的知識を身に付ける。②患者に検査を行う姿勢や責任について理解できる。③患者の心理面、身体面に配慮をすることができる。④患者がスキアスコップ、オートレフラクトメーターの機器の検査を安全かつ快適に受けられるように、適切に操作することができる。				
授業計画				
回	内容			
1	ガイダンス 実習室見学			(中谷・渡部)
2	視覚情報の基本 視能検査機器の基本的知識・安全管理			(渡部)
3	検査への姿勢・意識・責任、視能訓練士の自己マネジメント			(渡部)
4	患者・障害者の心理的社会的側面、患者・障害者への対応と配慮			(渡部)
5	視能検査の基本的知識			(渡部)
6	検影法(1)			(渡部)
7	検影法(2)			(渡部)
8	検影法(3)			(渡部)
9	オートレフラクトメーター（目的、原理、種類）			(中谷)
10	オートレフラクトメーター（各部位の名称、測定範囲、方法、結果の見方）			(中谷)
11	オートレフラクトメーター・検影法実習①			(中谷・渡部)
12	オートレフラクトメーター・検影法実習②			(中谷・渡部)
13	オートレフラクトメーター実技試験、検影法実習③			(中谷・渡部)
14	オートレフラクトメーター実技試験、検影法実習④			(中谷・渡部)
15	オートレフラクトメーターの結果をレンズ交換法に利用するための計算方法			(中谷)
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	80%			
レポート				
小テスト				
平常点				
その他	20%	オートレフラクトメーターの実技試験		
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名	出版社名		
視能学 第2版	丸尾敏夫 他	文光堂		
屈折異常とその矯正 改訂第7版	所敬	金原出版		
視能学エキスパート 視能検査学	和田直子 他	医学書院		
眼科検査ガイド 第2版	根木昭 他	文光堂		
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名	出版社名		
目でみる視力・屈折検査の進めかた 改訂第2版	所敬 他	金原出版		
理解を深めよう視力検査屈折検査	所敬 他	金原出版		
自由記載				
備考				